



Press release

2018年2月14日

アクサ生命、2017年度第3四半期末の業績を発表

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO:ニック・レーン)は、日本の会計基準に基づく2017年度(平成29年度)第3四半期末の業績を発表しました。

収入指標

- ・ 保険料等収入は前年同期比 5.1%減の 4,429 億円。これは主に、昨年好調だった『アクサの「外貨建て」の変額終身保険 アップサイドプラス』の販売が前年同期比で 243 億円減少したことによるもの。

収益指標

- ・ 基礎利益は、前年同期比 64.2%増の 302 億円。これは主に利息および配当金等収入の増加によるもの。
- ・ 純利益は 91 億円。これは主に基礎利益の増加によるもの。

財務基盤

- ・ ソルベンシー・マージン比率は、2016 年度末の 745.6%から 57.0 ポイント増加し、802.6%。

アクサ生命の取締役執行役員 CFO、住谷 貢は次のようにコメントしています：

「2017 年度第 3 四半期、アクサ生命の保険料等収入は前年同期比で減少したものの、収益指標である基礎利益は同 64.2%増となり、堅調に推移した。ソルベンシー・マージン比率は、802.6%と 2016 年度末から 57.0 ポイント増加した。これは、お客さまを将来にわたって継続的にお守りできる支払余力を有しているということであり、持続可能で健全な財務基盤を維持したことを示している。」

「昨年 9 月に販売を開始した『アクサの「一生保障」の医療保険 スマート・ケア』は 12 月末時点で 3 万件近くのご契約をいただくなど大変ご好評をいただいている。本年 2 月には、『アクサの「長期保障」の定期保険 フォローアップライフ』の販売を開始し、法人のお客さまの「経営リスク」への備えや、個人のお客さまの長期保障を目的としたソリューションを拡充する。」

「昨年 12 月には、KDDI 株式会社とヘルステックの共同研究やヘルスケアサービスの協業を開始し、新たな商品やサービスの開発に向けた取り組みにも着手した。また、『My AXA』を通じた給付金請求手続きや契約者貸付なども開始し、お客さまの利便性向上に継続的に取り組んでいる。」

「さらに、将来の成長を確保するための投資を継続することに引き続き注力しており、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の導入などを通じた業務効率の最適化や、コスト効率を高める施策を全社的に実施している。」

「アクサ生命は今後も、会社ビジョンである『Payer to Partner』に従い、単に保険金・給付金をお支払するだけの『支払者(Payer)』から、いかなる時もお客さまに寄り添いサポートする『真のパートナー(Partner)』となることを目指していく。」

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、237 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2016 年度には、2,522 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。また、「アクサ損害保険」と「アクサダイレクト生命」を連結する親会社として、子会社各社の経営管理・監督を行っています。

AXA グループについて

AXA は世界 64 ヶ国で 16 万 5,000 人の従業員を擁し、1 億 700 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2016 年度通期の売上は 1,002 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は 57 億ユーロ、2016 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 4,290 億ユーロにのぼります。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 メディア&パブリックリレーションズ

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>



添付資料

アクサ生命保険株式会社
2017年度第3四半期末 主要業績

(1) 個人保険・個人年金保険の年換算保険料

1. 新契約の年換算保険料

(単位: 百万円、%)

	2016年度第3四半期累計期間	2017年度第3四半期累計期間	前年同期比
個人保険	38,803	36,363	93.7
個人年金保険	△11	△8	-
合計	38,792	36,355	93.7
うち医療保障・ 生前給付保障等	11,865	13,423	113.1

2. 保有契約の年換算保険料

(単位: 百万円、%)

	2016年度末	2017年度第3四半期会計期間末	前年度末比
個人保険	434,356	447,161	102.9
個人年金保険	101,422	95,883	94.5
合計	535,779	543,044	101.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	206,316	208,851	101.2

(2) 保険料等収入

(単位: 百万円、%)

	2016年度第3四半期累計期間	2017年度第3四半期累計期間	前年同期比
保険料等収入	466,842	442,969	94.9

(3) 基礎利益

(単位: 百万円、%)

	2016年度第3四半期累計期間	2017年度第3四半期累計期間	前年同期比
基礎利益	18,449	30,289	164.2

(4) 純利益

(単位: 百万円、%)

	2016年度第3四半期累計期間	2017年度第3四半期累計期間	前年同期比
純利益	△2,171	9,191	-